

ずいそう

## 中学生の会社見学会での大きな気づき

瀧川 信二



### 1. はじめに

先日、会社で中学一年生に研修を行いました。「ふるさと学習」の一環として、郷土の産業を知ることや働くことについて、子供たちが考えるための動機付けを目的としています。毎年、会社の説明や働く意義などを教室でお話させてもらっていました。今回はコロナ禍ということもあり、校外学習にしました。今年は例年に比べて無邪気な子が多いなと感じていましたが、私たちに実に細かく観察し、気づきを得てくれました。私はよく先輩経営者から次のような戒めの言葉をいただきます。「瀧川君、社員は君の言葉を聞いて動くのではなく、君の行動を見て動くんだぞ。」「君の行動を社員は常に見ている。経営理念は社長の背中が語るもんだぞ。」改めてその意味を、中学一年生から教えてもらいました。

### 2. 研修挨拶（機械の病院）

みなさんこんにちは、タックの社長をしています瀧川です。この工場は機械の病院です。工事で使うプラントや注入装置をきれいに整備・検査して出荷します。現場でトンネル掘削が終わると機械は戻ってきますが、この機械をキレイに元通りに仕上げ、再び出荷します。整備して出荷するの繰り返し、私たちは何度もリサイクルすることで地球環境にやさしい仕事をしています。

セメントでいっぱい汚れた機械をピカピカに戻すために、ここにはたくさんの名人がいます。ケレン名人、お掃除名人、溶接名人、ペンキ名人、電気名人、組立名人、検査名人、パソコン名人たちです。一人ひとりが自慢できる技術を身につけることで成り立つ仕事です。この機械はトンネルをつくる時に活躍し、出来上がったトンネルは電気・水道・ガス・道路・地下河川などに化身して、世の中の人に喜んでもらいます。人から喜んでもらった名人は、もっと喜んでもらおうと、さらに自分の技術を磨き続けます。このようにして、みんなのお父さんや母さんも毎日働いています。家に帰ったら、「お父さんすごいね、お母さんすごいね」

と伝えてみましょう。

### 3. 工場見学（トンネルをスムーズに掘るための薬と機械）

ここでは薬の開発や実験も毎日行っています。私たちは、道路下のトンネルがきれいに掘り進むように、トンネルの周りに注入する特殊な薬を販売しています。トンネルを掘るシールドマシンという機械は、三菱重工さん、川崎重工さん、日立造船さん、コマツさんといった日本でも超有名な会社が作っています。そのマシンをスムーズに動かすのが私たちの仕事です。トンネルが通過する土をスムーズに取り込むための添加材という薬、トンネルが沈下しないように裏込め材という薬を販売しています。今日は実際にどんな薬を使っているか触ってもらいます。また、その薬をボタン一つで調合し、トンネル先端まで送り届ける機械を見てもらいます。

### 4. 授業（大会議室）

#### (1) タックの仕事（ビデオ上映）

- ①働く社員は備前のまちから世界の地下で大活躍しています。（国内工事現場）
- ②トンネル工事の中のタックの受け持つ範囲はすごく大きいです。（海外工事現場）

#### (2) みんなへのお願い

- ①何か自慢できる名人になってください。人にやさしい名人でも良いです。そうすると必ず誰かが喜んでくれます。
- ②親孝行してください。親孝行できない人は、会社のリーダーはつとまりません。クラスリーダーもつとまりません。みんなは近い将来働くことになりませんが、仕事はすべて感謝の心から始まります。先輩から仕事を教えてもらえる恩を自覚し、恩に感謝し、恩に報いようとして初めて人はもっと努力できます。まずは一番身近なご両親の恩を感じ、感謝して、恩に報いようとして努力する。これがすべての仕事の基本です。次に学校の先生に感

謝しましょう。

## 5. 中学一年生 32 人の感想 (一部)

### ①男子 KH 君

今日は本当にありがとうございました。ぼくの中で心に残ったことは、機械についてです。最初は大きなと思うだけだったけど、説明を聞いて、すごい機械なんだなと思ったのと、会社の全員の人が笑顔で仕事をしていたところです。それを見て、いい仕事場だと思いました。そしてぼくは、周りを見る名人になりたいなと思いました。理由は、この仕事の見学をしたときに、看板に、ケガ注意などのものがあったからです。会社の人たちは安全に気をつけて今まで仕事をしてきたから、笑顔でむかえてくれたんだと思いました。

### ②女子 KM さん

私が今回見学させてもらった中で、気泡やポリマーを混ぜていくと、普通の土から、伸びていくような土がふわふわとなっていく、とてもさわって楽しかったことと、みなさん優しく気づかせてくださり、とても嬉しかったということが印象に残っています。私は今回、たくさんのお話を聞かせていただくことができましたが、その中でも私はこれから親切名人になれるように人に優しく、困っている人がいた場合には、その人の所にすぐに駆けよって、助けていきたいなと思っています。動画では、こつこつと自分の仕事に対して、一生懸命に取り組んでいると、いつか夢が叶ったり、世界などでも活躍できるんだということと、英語をこれから「頑張る！」という思いでこれから少しずつ大人に近づいていきたいと思っています。タックのみなさんがしている仕事はみんなが生活している上で使っていると知り、「私たちが住んでいる所にあるんだ！大切にしていきたい！」と思いました。これからも頑張ってください。

### ③男子 MS 君

僕が、今回の体験を通して印象に残ったのは、講演の中で話をしていた、親孝行のことです。僕は中学生になって中々親と話をしたり、手伝いをしたりなどのふれあいをしていませんでした。そんな時期だからこそ、親孝行についての話が印象に残りました。これからは、どんどん自分から親に話しかけたり、手伝いをしていきたいです。そして親孝行について、少しでも先生に話をしたいです。僕がもう一つ印象に残ったのは、実験させていただいた時のことです。実験をするために使うものを、自分のところまで持ってきてく

れた方がいました。とてもうれしかったです。優しい方だなと思いました。僕も、そのように、困っている人がいたら助けることができる、「お助け名人」になって、たくさんの人を僕みたいになれる気持ちにしていきたいです。

### ④女子 WS さん

私は TAC の工場体験で 1 番印象に残ったのは、実験です。気泡をいれた土はドロドロだけど一時間もすればカッチカチになるのはとてもビックリしました。そして私が 1 番感動したのは TAC のみなさんの思いやりです。忙しい中わざわざ出むかえまでしてもらったことが私はとてもうれしかったです。それだけでなくボタンを押すときもとても丁寧に優しく教えてくださったこと、絶対に忘れません。私は英語が苦手だけど社長さんの話をきいて、英語の大切さがわかったので少しずつ英語に慣れようと思いました。そして私の自まは声です。だから学校でたくさん発表して発表名人になれるようにがんばります。

### ⑤男子 MY 君

最初から、建物の外にでて並んでくれたり、ぼくたちの服がよごれないように工夫をしてくれたりしてくれて、ありがとうございました。ぼくがいろんな機械を見たりした中で、一番印象に残ったことは、コップを使った実験です。この実験を体験するとなったときに、自分から「やりたいです」と声をかけたり、手をのばしたりできませんでした。ぼくは自分から声をかけるのが苦手なので、できなくてもいいやという気持ちになってしまいました。しかし、途中で、「やる？」と声をかけてくれたので、とてもうれしい気持ちになりました。声をかけなくても怒られたりしないのに、あつてからまだ全然時間がたっていない人に声をかけることができているところがとてもすごいなと思いました。そこで、ぼくは社長さんの話も聞いて、「声かけ名人」になりたいなと思いました。少しずつがんばっていきなと思っています。いろいろところで優しくしていただきありがとうございました。これからも仕事がんばってください。

### ⑥女子 NR さん

私が一番印象に残っているのは、土が固まる実験です。実験の時間はとても楽しく、「触っていいよ」とやさしく声をかけて下さり、とても楽しく実験することができました。社長さん以外の人でも気軽に声をかけてくれてお父さんの話をしたり、たくさん話をすることができてとても楽しかったです。最後の講演の時に社長さんが「自分の得意な事の名人になってください」とおっしゃっていました。今私の得意なことは、ピア

ノを弾くことなので、これからも毎日練習してもっと上手になるようにがんばります。そして英語で読んでいるビデオを見て、やっぱり英語はとても大切だなと思いました。なのでこれからも英語の授業をがんばっていきたいです。帰る時に全員の人が見送りをしてくれていてとてもうれしかったです。

#### ⑦男子 NR 君

今回は僕たちのために大切な時間をさいてください、ありがとうございます。とても貴重な時間になりました。僕たちのことを考えポンチョをくれたり、気が楽になるように場を楽しくさせるようなことをしてください、ありがとうございます。みなさんの仲が良いということが伝わってきました。様々な体験をし、どうなるのかということがわかりやすかったです。動画では、ほそい管みたいな物をつくっていて、やっぱり発想力がすごいなと思いました。あれだけ使いやすいいものをコンパクトに作れていてすごいなと思いました。作る工程が見たいなと思いました。今まで物を作ることはあまり興味がありませんでしたが、これを

きっかけに技術でのものづくりを一つ一ついねいにこなして、自分の中で最高と思える作品が作りたいです。何を作るのかなども、自分の持っている力を十分にだそうと、やる気の出る一日でした。

## 6. 私たちの気づき

子供たちは税金のおかげでしっかりした教育を受けることができ、いずれ日本の将来を担います。一方、私たちは企業活動で得た利益の一部を納税することで、間接的に子供たちの教育に貢献しています。今回私たちは子供たちの感想を聞き、直接的に子供たちの教育に貢献できた喜びを得ることができました。私たちが企業利益を上げることが、自社の発展だけでなく社会の発展につながっていることを実感できた素晴らしい機会でした。中学生の皆さん、ありがとうございました。

——たきがわ しんじ (株)タック 代表取締役社長——

